

平成23年度学校経営構想

I 教育の基本姿勢



豊かな心で学び続ける子

- おもいやりのある子
- おわりまでやりぬく子
- せいはいっぱい考える子



希望の像
(創立20周年記念建立)

正門をくぐり、玄関横には「希望の像」が建っています。右手に本を持ち、左手を正門にさしのべ、その手の上には小鳥が乗っています。卒業時には「夢」や「希望」を持ちたくましく羽ばたいていってほしいという願いが込められています。まさに大瀬小学校へ入学6年間の進むべき路は、この玄関脇に建つ「希望の像」にみる姿であり、子どもたちが卒業時、「夢」や「希望」をもって力強く羽ばたいていける姿。「夢や希望をはぐくむ学校」づくりをめざしています。



おおせの子よ
大の字のように
しっかりと足をふみしめて
大空にむかって強く生きよう
波のように清く生きよう

1 経営の理念

大瀬小学校の進むべき路は、「希望の像」にみる姿である。それは、子どもたちが6年間の学校生活を通して、将来に対する「夢」や「希望」をもち、卒業時には、その「夢」や「希望」に向かって力強く羽ばたいていく姿である。そこで、本校の教育活動の理念を。「夢や希望をはぐくむ学校づくり」とする。

「夢や希望をはぐくむ学校づくり」をするためには、子ども一人一人を理解することが、全ての教育活動にとって重要である。「子ども理解」が十分なされる学校には、笑顔で生き生きと活動する子どもたちの姿が見られる。「わかってできる授業・楽しい授業」や「躍動感ある学校行事」等、教育活動全体を通して、達成感や満足感を味わわせることを大切にしていきたい。

2 目指す子どもの姿(中郡中学校区)

- (1) 夢や希望をもって学び続ける子
- (2) 思いやりの心を持ち、地域に貢献できる子
- (3) 自らの考えを、堂々と表現できる子

3 目指す教師の姿

- (1) 人間性豊かで、情熱のある教師
- (2) 教師としての資質の向上を目指し、研鑽を積む教師
- (3) 学びの充実を保障する教師
- (4) 児童の安全と生命、健康を守る教師

4 学校教育目標『豊かな心で学び続ける子』

豊かな心：自分を律し、人・もの・ことに進んでかかわることで、感謝する心や思いやる心、感動する心を育てる。

学び続ける：生涯学習の基礎である今こそ、学ぶことの意義や喜びを味わい、生涯にわたり自ら求めて学ぶ態度を養う。

5 教育方針

我々教職員の最大の課題は、子どもたちを心身ともに健やかに成長させること。

- (1) 子ども第一
一人一人を大切にし、全職員が常に「子どものため」と考えて物事を進める。
- (2) バランスのとれた人づくり
「確かな学力」「心の耕し」「たくましい体」の、知・徳・体のバランスがとれた子どもを育てる。
- (3) 集団（学校）ならではの学び
家庭ではできない学び、人と人とが交流する中でしか学べないルールやマナー、規範意識を身に付けさせ、他者との良好なかかわりがもてる子どもを育てる。
- (4) つなぐ（小中一貫・小小連携）
その時期、その学年で教えるべきことを、機を逃すことなくポイントを押さえて指導し、次に学年につなぐ。そして、6年間の学びを充実させて中学校へつなぐ。

6 重点目標

- (1) おもいやりのある子
 - 笑顔であいさつができ、友だちと和やかに会話する。
 - 自分の良さがわかるとともに、友だちの良さを知り、共に生活する。
 - 相手の立場に立って物事を考えたり、みんなのために働いたりする。
 - 善悪を判断し、人としてしてはならないことはしない。
- (2) おわりまでやりぬく子
 - 共に認め励まし合いながら力いっぱい体を動かし、強い心と体をつくる。
 - 自分や学級の目標に向かい、最後まであきらめないで挑戦する。
 - 健康的な生活を送ることができるように、健康管理ができる。
- (3) せいいっぱい考える子
 - 「読む」「聞く」「話す」等、けじめある態度で授業に参加する。
 - 自分の考えをもち、友だちと学び合うことで思考力・判断力・表現力をつける。
 - 疑問や課題を調べたり、創意工夫したりすることで解決する。

II 学校経営の基本姿勢

1 学校経営目標

- (1) 「わかってできる授業・楽しい授業」を実践し、成就感や満足感を味わせるとともに、基礎学力を定着させる。
- (2) 子ども一人一人を理解し、その思いや願いを大切にしたい温かいかわりの中で、所属感・自己肯定感をもたせる。
- (3) 自己管理能力を養い、健康に過ごすことができる豊かな心と健やかな体を育てる。

2 経営方針『教育は人なり』

教育的な情熱と真剣さが不可欠。熱情・真剣さは、子どもに対する愛情の現れであり、教職に対する使命感の現れ。 “善美”・・・こんな先生みたいになりたい

- (1) 個性と組織力：職員の持ち味を発揮するとともに、行事や困難にはチームで対応
- (2) 指導の基本：知らないことは丁寧に教え、してもできないことは認め励まし、してはいけないことは愛情をもって叱る。
・・・めりはりのある指導・ねばり強い指導
- (3) 問題への対応：即行、状況把握、公平・公正、安全、笑顔・・・顔を見て
- (4) 成果が見える：子ども自身、教師、保護者、地域が子どもや学校の成長が見える。
- (5) 信頼：子ども、保護者、地域、同僚からの信頼が、教育効果を高める。

3 重点目標

- (1) 確かな学力を付ける学校（わかってできる授業・楽しい授業）
 - ① 授業の指導方法工夫・改善（少人数指導、T T指導等）
 - ② 教科担任制の推進（高学年の教科担任制）
 - ③ 学習習慣の定着（学習の基本づくり、家庭学習のあり方）
 - ④ 授業研究の充実（ワークショップ型研修の導入）
- (2) 温かな人間関係で結ばれている学校
 - ① あいさつ運動の推進
 - ② 心の耕し（道徳の授業の充実、朝・帰りの会の語り等）
 - ③ 教育相談の充実（定期相談、随時相談）
- (3) 健康な心と体を育む学校
 - ① 基本的な生活習慣の定着（早寝・早起き・朝ごはん）
 - ② 自己管理能力の育成（体力づくり、健康管理、疾病治療）
 - ③ 自己管理能力の育成（安全点検、危機管理マニュアル）
- (4) 地域と共に子どもを育て伸ばす学校
 - ① 地域人材の活用（読みきかせボランティア、学習ボランティア）
 - ② 学校理解と信頼（教区相談、参観会、懇談会、学校だより、HP）
- (5) 職員全員が同じ思いで進む学校
 - ① ゆるぎない指導（建設的提案、決定事項の共通理解と遵守）